

えびあん

3

立川と語ろう 立川に生きよう
March 2013
Écoutez Bien Vol.31 No.340

表紙の人 / 梅田園三代(上砂町)

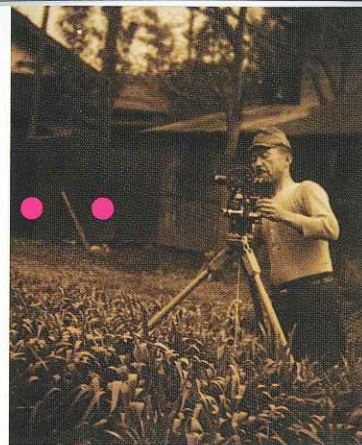


立川の測量といえは・・・

戦前から戦後にかけて、役所や交番に貼られていた「立川全図」には『田宮測量社』の名前が記してあった。

立川の測量業界草分けとも言える

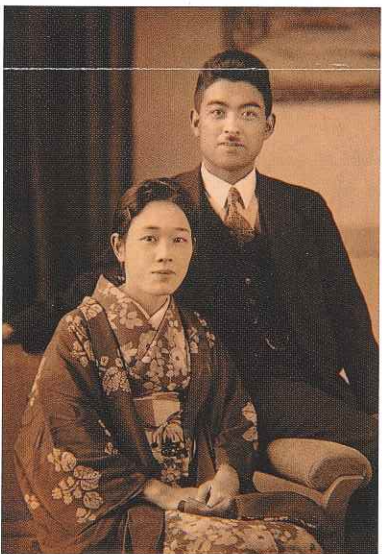
田宮市郎右衛門さんのお孫さん 田宮茂さんに話を聞いた。



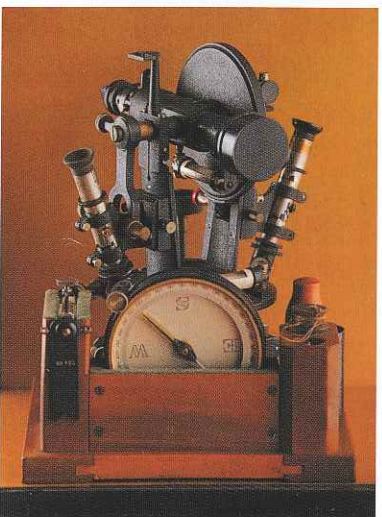
田宮茂さん



市郎右衛門さんと文子さん



遺品のトランシット



立川市歴史民俗資料館に行くと、立川変遷地図集という本がある。そこに「田宮測量社」と記された地図がいくつも掲載されている。田宮市郎右衛門さん、明治36年生まれ。昭和5年の立川の地図以降、昭和7年、昭和11年の改訂版にも田宮さんの名前が記されている。「昔の大きな陶器の灰皿を使ってましたが、中は火鉢みたいになっていました。灰しか入ってない。そのくらいタバコが好きだったんです」——茂さんの語るお祖父さん、市郎右衛門さんの姿だ。

田宮測量社は立川駅の南口、現在のマクドナルドのところにあった。岩崎家の借家で測量事業の傍ら「南羊堂」という文房具店を営み、奥さんの文子さんが店番をしていた。昭和5年から18年頃までの話である。

田宮夫妻に子どもはなく、養子に入った文治さん（茂さんのお父さん）のところに、文子さんの妹幸子さんが嫁いできたのだという。茂さんが物心ついた頃には、お祖父さん夫妻は北口の、やはり岩崎さんの地所を520坪借りて住んでおり、バイクに乗って測量に出かけて行く姿をよく見たそうだ。文治さん一家は当時富士見町に住んでいたが、茂さんたち孫にとって立川のお祖父さん宅は庭が広くて池があり、離れがあって公園を独り占



田宮文治さん(当時は旧姓 勝尾文治さん)

めているような子どもたちにとってはすばらしい遊び場だったのだという。

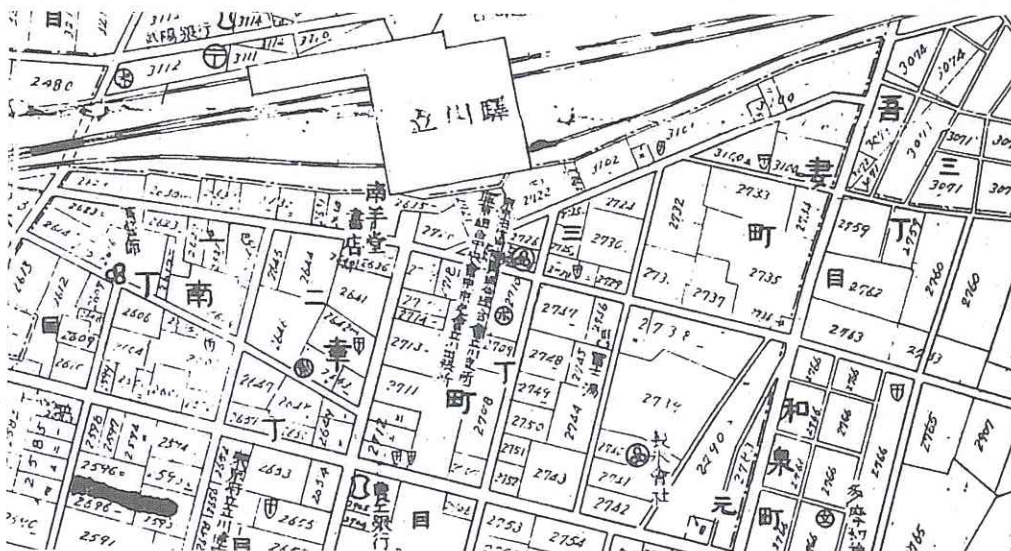
一方、養子に入った文治さんだが、大正7年、新潟県生まれ。陸軍士官学校を経て入営。ノモンハンにいたが、飛行学校の先生が足りないということ呼び戻され、立川と所沢の飛行学校で教えていた。学生が組み立てた飛行機で試験飛行をするのだが、乗りたがらない士官が多い中、文治さんはよく飛んだのだと言う。一度試験飛行に

出て、谷保に落ちたことがあり、その時の傷はその後もずっと残っていたが、茂さんに話したのは傷のことよりも、墜落を周囲の住民に伝えたところ、村人から「へいだらこくな」と言われたその言葉の意味がわからなかったことだそう。一時期、飛行第五連隊にも所属し、同時期の名簿の中には川上哲治の名前もある。

戦後、測量とは関係のない鉄工所「株式会社曙製作所」を設立。息子たちに「時代に生きろ」と話し、茂さんの兄 田宮治雄さんは会計士の資格を取得、現在は東京国際大学 商学部教授に。次男である茂さんが文治さんの後を継いだ。

市郎右衛門さんが測量士だったという遺品は、昭和8年に求めた「トランシット」だけだそう。

田宮測量社 (昭和12年)



もっとお金の話をしようよ



不動産資産は6億1千万!

イスラエル人の妻となってユダヤの教えを実践。
ゼロからのスタートでも大丈夫!
星野陽子さんの著書「ユダヤ人と結婚して20年後に
わかった 金銀銅の法則50」には
お金の愛される生き方の秘伝が…。

星野 特許翻訳をしています。短大時代に英語を勉強して、銀行に勤めて、国際結婚してと英語は使ってきましたが、特許翻訳のためには勉強も必要でした。もう20年くらいこの仕事をしています。今でも新しいテーマになると、1から勉強しています。

—その傍ら、昨年この本を出されたわけですが、どういう経緯でこの本をお書きになったのですか?

星野 特許翻訳は本業ですが、それだけ

で生活しようとは思っていませんでした。自分を最大限活かして世の中に貢献したい、そう思っていたので。子育ても手が離れたきたし、まず自分の強みを探す講座に出て、そこで勉強しているうちに自分の強みをプロフィールにして他の人に見せると、みなさん、お金のことを聞きたいとおっしゃるんです。

—それで本をお書きになった。最初のページに「私は大きく変わりました」って書いてあります。それまでの星野さんから今の星野さんへ変わった、そこにユダヤの教えが影響しているわけですね。

星野 日本人はお金に対してブロックするところがあります。もっと楽にお金を稼いで欲しい、お金に困らないで欲しいという思いでこの本を書きました。ですからこの本の裏テーマは「チェンジ」。自分を少しだけ変えてみる。

—確かに日本人、特に関東の人にはお金の話に対して「いやらしい」「はしたない」という思いがあるかもしれないです。

星野 「私はいいです」「私はこのくらいで」という雰囲気がある。私もお金の話は苦手でしたし、お金持ちに対しても屈折した思いがありました。そしてお金に向き合わなかった。でも結婚相手の影響でお金にきちんと向き合うようになったらお金が貯まるようになりました。

特許翻訳というのは専門的ですから結構むずかしい。同業者の中には学歴の高い人やすごい経歴の持ち主がいっぱいいます。でもなぜか稼げない人たちもいます。理由のひとつはお金をもらうことに抵抗があるからです。完璧じゃないからとか自信がないと

か。交渉しない人も多いですね。東日本大震災の後、仕事が一時減った時に値下げを要求する取引先に対して、下げてしまう人もいましたが、私は同業者とお金に関する情報交換をして下げないことに決めました。リスクはあったけれど、結果仕事量は減っていないです。変にブロックしてしまわないで、お金の話をきちんとすることが大事です。
—星野さんご自身はどことが変わったのですか?

星野 とても内気で自分から話すなんて高校時代までなかった私です。今でも話すのは下手だし、書くことの方が好きですが。それが結婚したことで、自分の意見を言うようになりました。ユダヤ人には成功している人の割合が高いです。その大きな理由として、ユダヤ教の聖典「タルムード」の中に書かれてあるラビ(ユダヤ教の指導者)の意見に対してみんなが意見を言い合う習慣があるのではないかと思います。その習慣が考える力を育てているのではないのでしょうか。

家族や親族で輪になって話をしていて、私が入ると英語で話してくれるのですが、なかなか自分の意見を述べられませんでした。すると「頭の中に何も入っていないのでは?」なんて言われたりして。始めはとまどったし、泣きました。宗教的な生活をしていてもしてなくても、ユダヤではこうした話し合い、改善、改良、イノベーションが習慣になっているんです。

—なるほど。ところで資産6億1千万円って、どういうことですか?

星野 投資用物件です。ローンで買っていますから純資産ではないです。最初はセミナーで勉強して、2003年にワンルームマンションを現金で買って6年後くらいに売りました。2008年に小平市のマンション1棟買いに成功。今は2棟持っています。

—すごい…。財テクしているいろいろあると思いますが、その中で不動産にしたのはなぜですか?

星野 子育てもしていたし仕事もしているの、手のかからないことがやりたかったから。

—マンションに投資して失敗する人もいます。それは買った物件が悪いのかしら?

星野 リスクは山のようにありますし、税金のことや経営のこともよく勉強しないといけません。不動産投資は甘くないです。長い期間運営するものなので、私自身も自分のことを「成功者」とはまだ呼べないです。
—星野さん、勇気がありますね。

星野 そうですか?

—日本人の平均的な生活は、一定金額が入って来て、それをどう分けて暮らすか、ですもの。

星野 私の実家はずっとそうして暮らしてきたし、特に私の母はその入ってきた金額を全部使ってしまう人

でしたから、貯金もない。私は結婚して相手の家庭を見ることで、貯金とか資産とか大事なんだな、そういうことを考えて生きていった方がいいんだなと思えるようになりました。特に今の時代です。職を失うことだってあります。だったら複数の収入源があった方がいいと思います。

—確かにそうです。先ほどのブロックに通じますが、お金のきらいな人はいないと思うけれど、お金儲けできないんですね。
星野 結婚するまでは私もそうでした。でも、子どものためや安全のために、お金はあった方がいいです。あるに越したことはないです。
—まだまだ経済的に厳しい情勢は続くわけですが、

星野 夫婦でお金の話をよくしているお宅はハッピーです。夫婦は共同体だから、夫だけが経済的責任を負うのは厳し過ぎると思います。だから夫婦でお金と向き合うの

がいいですね。
—喧嘩になっちゃうお宅もあるんじゃないかしら?

星野 夫だけが働くとか、逆に誰のおかげで食べてるんだとか、それはどっちも違うと思うんですね。一緒に不動産投資をしているご夫婦は皆さん仲がいい。同じ目標を持ち同じ方向を見ていると喧嘩になりにくいと聞いています。ユダヤでは幸せとお金があつて成功者。お金は自由を得る最強の手段だし、キラキラしてきれいなものであって汚いものではありません。

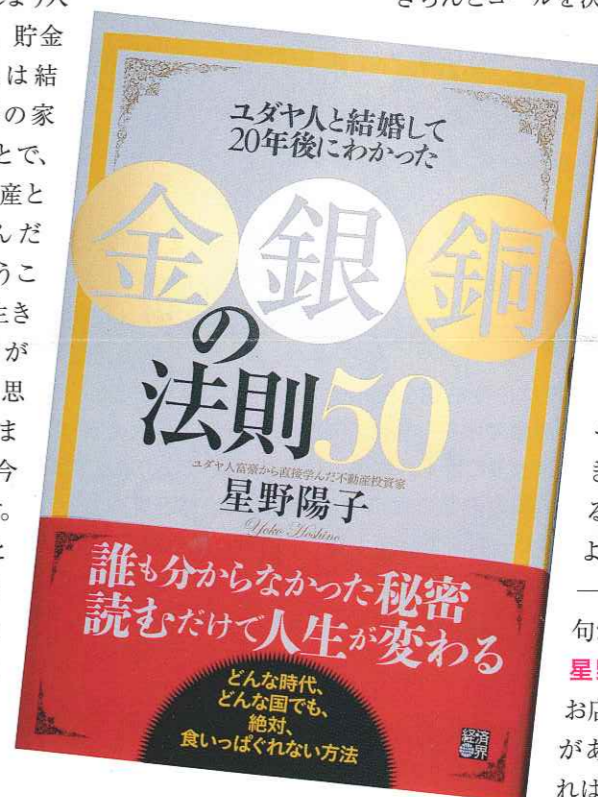
きちんとゴールを決めて、これからの厳しい時代をどう乗り切るかって、家族というユニットで考える。働いていない奥さんなら、まず働くことを考えてもいいのでは。それも好きなことをやるのがいいと思います。生活のために嫌々やるんじゃないで、好きなものやってみる。きっと楽しいですよ。

—奥さんたちから文句が出そうだな。

星野 私の母も小さなお店を持ちたいという夢があったのですが、やればいいのかいらない?と言うと、お父さんがダメと言

てるか言って、やらない。母は人気者でしたからお店をやったら絶対にお客さんがたくさん来たはず。勇気がなくてできなかったのは本当に残念だと思っています。
—星野さんは勇気があるだけじゃなくて、勤勉なんですね。

星野 こつこつやるのは昔から好きです。今、「頑張る」ってダサイイメージがあるかもしれませんが、頑張ることも大切です。ユダヤの教えは「勤勉であれ。怠けていたらだめ」なんです。ユダヤ人は厳しい環境で生きてきたから、学ぶことが多いです。



今、私たちに なにができるのか。

企画展 記憶をつなぐ ——津波災害と文化遺産——

国文学研究資料館の展示室で、企画展が開催されている。
東日本大震災直後から文化財レスキューに奔走した人間文化研究機構に属する
みんぱく*、れきはく*、国文研*などの活動記録と救済された文化財。
会場を一巡すると見えてくる —— 遺されたものの使命。

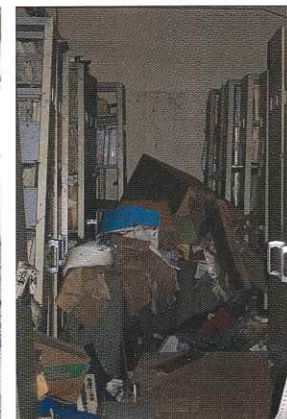
*みんぱく=国立民族学博物館 れきはく=国立歴史民俗博物館 国文研=国文学研究資料館

震災からまもなく2年。過ぎし日の一天災と他人事にしてしまうのではなく、自分事としてもう一度直視してみよう。被災し失われた釜石虎舞や大船渡の笹崎鹿踊が、多くの善意で新調された。全てを失った人々の心の復興に必要なものは何か、考えさせられる。

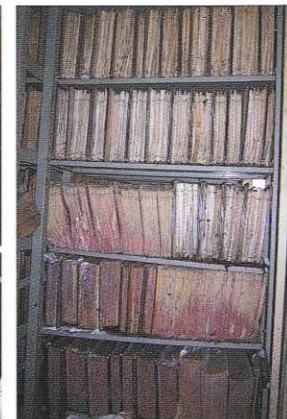
国文研の青木 陸准教授は、今活動を主体となって行ってきたひとり。津波被害を受けた釜石市では、公文書が海水で水損し甚大な被害にあった。行政文書は釜石市にとって行政上の基礎資料であるばかりでなく、地域・住民の記録であり将来にわたり貴重な歴史資料である。個人情報が多い書類を救済するため、自治体と支援者との間に信頼を築く証として、守秘義務に関する誓約書を交わしての活動。膨大な量、しかも海水を含んだ書類はこのほか重く、重労働となった。丁寧で細かい作業が続く。この復旧活動を支えたのは、専門的立場にある多くの支援者とボランティア。使命を感じなければできなかったことだろう。

展示品の中には国文研所蔵である過去の災害資料もある。時代を越えてすべての展示品に犠牲となった魂が宿っているのを感じる。企画展には鎮魂の思いを込めたいと青木先生は語っていた。

瓦礫の中から救出した、
ぐにゃりと変形したチューブファイル文書



釜石市地下文書庫。瓦礫が堆積している状況 (2011年4月26日)



棚下段に発生した赤カビ (2011年5月23日)



教室を使用している乾燥状況

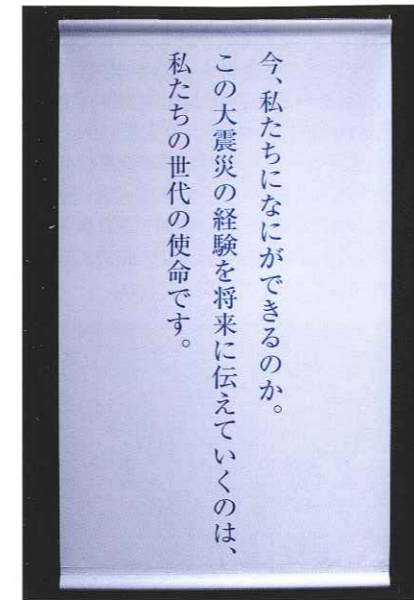


変形を補整しながら整形し、吸水紙を挿入後、整形して縦置きにして乾燥している状態

みんぱく、れきはく、国文研の文化財レスキューの様子展示

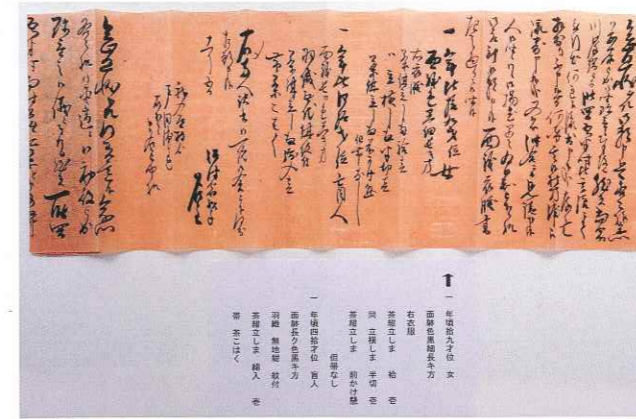
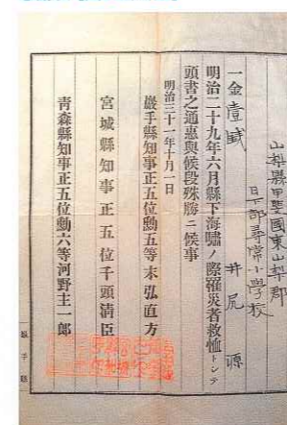


応急対応段階での圧縮袋への簿冊の封入

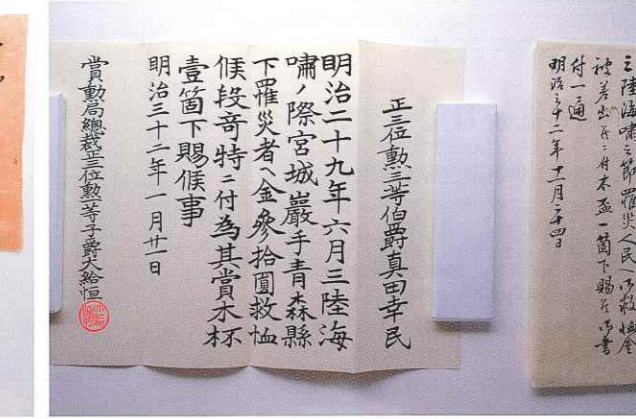


国文学研究資料館企画展関連書籍
『記憶をつなぐ——津波災害と文化遺産』
日高真吾編 千里文化財団発行

甲斐国下井尻村井尻家文書
明治三陸地震の義捐金寄付に対する
感謝状【国文研所蔵】



嘉永7年(1854)11月5日 伊豆国重須村土屋家文書
流失人探方に依頼状(海に流された人の年格好、着衣などが書かれてある)
【国文研所蔵】



信濃国松代真田家文書 明治三陸地震の義捐金寄付に対する木村の下賜状
【国文研所蔵】



えくてびあんはリストのお店にあります。
今月は 緑町・泉町・西砂町・一番町・上砂町・砂川町
柏町・国分寺西町・幸町・若葉町・柴町 のお店です。

- 緑町 陸上自衛隊 立川駐屯地 524-9321
国立国語研究所 540-4300
国立極地研究所 512-0652
国文学研究資料館 050-5533-2900
こもろの里 569-6277
花みどり文化センター 528-1751
昭和天皇記念館 540-0429
- 泉町 ハウジングワールド立川 527-1321
東京消防庁 立川消防署 526-0119
Café はあもい 512-7810
- 西砂町 パティスリー プルミエール 514-4835
パン工房 ゼルコバ 560-4544
CHINESE DINER 陶桃 531-3100
- 一番町 B3+ギャラリーウェルメイド 538-7250
fresh shop スーパーはしもと 536-2331
- 上砂町 JA 経済センター 立川店 536-1824
JA 東京みどり 立川支店 536-1821
陶工房 己流庵 537-6102
たましん 砂川支店 535-4411
BREAD&Sweets マニシェール 537-2202
- 砂川町 貿易風 534-6541
山梨中央銀行 立川支店 536-0871
超こってりらーめん パワー軒 535-1665
ペーカリー リオンドール 535-4882
ピーコック 玉川上水店 538-3861
富家医院 536-4602
うなぎ専門店 うなちゃん 536-6240
- 幸町 立川農産物直売所 536-2439
いなげや 立川幸町 537-1820
たましん 幸町支店 535-5311
中華レストラン SANFUJI 536-3813
西武信用金庫 幸町支店 537-3101
お米屋さん 大黒屋 536-0851
江戸前・富山の魚と酒 緑寿司 536-4800
至誠キートンホーム 538-2323
とんかつ・割烹 かつ亭 535-4611
ドイツ製法ハム・ソーセージゼーホフ 535-5009
和洋菓子 たちはな 537-0347
BS タイヤショップ 佐藤商会 537-0912
在宅療養支援診療所 立川在宅ケアクリニック 534-6964
古楽の小屋 ロバハウス 536-7266
- 国分寺西町 fermata 534-3334
- 若葉町 ふんどの青木寝商 536-6833
レストラン サラ 534-0602
リラ美容室 536-3048
浅見内科医院 537-0918
スーパー ヤオコー 538-1711
生鮮館 和光 立川店 538-3121
まんまる助産院 ひまわりハウス 534-9877
ありた整骨院 534-1622
カフェ・レストラン てくたく 536-5788
- 柴町 たましん 柴町支店 536-9711
いなげや 立川柴町店 523-7201
ニュースサービス日経 立川中央 522-4507
チーズ王国 本社 513-4101
彩食中華 須崎 507-0981
手作りパン工房 Bonheur~ボヌール~ 536-3207
FUKUSHIMAYA 立川店 534-1700
相模屋酒店 536-2476
メンズカットヤザワ 536-8738

jorakugajo

真如苑提供番組〈常楽我浄〉

スカパー! : 216ch

スカパー!で放送の常楽我浄は
スマートフォンアプリ「ivy」(無料)で視聴できます。

マイテレビ : 111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

みんなあつまれ!!
立川消防フェア2013

3月9日(土)9時30分から12時まで、立川消防署(泉町)に隣接する東京消防庁第八方面訓練場で、「立川消防フェア2013」が開催されます。ハイパーレスキュー隊を始め航空隊、立川消防署、立川市・国立市消防団、災害時支援ボランティアの見事な消防演技披露、カセットガスボンベ爆発実験、はしご車や消防ミニカーの体験乗車、もちろん地震車で揺れを体験することもできます。大人も子どもも楽しみながら消防についての認識を深める半日。自宅の消防地震対策はだいじょうぶかな?いざという時慌てないために、ぜひ、消防フェアへ!

開催場所には駐車場のご用意はありません。公共交通機関をご利用ください。お問い合わせ先 立川消防署予防課防火管理係 TEL 042-526-0119



今年もやります〈陸上競技教室〉

立川市陸上競技協会では、4月14日から11月20日まで、立川公園陸上競技場で陸上競技教室を開いています。一緒に走って、跳んで、投げて...、陸上競技に関心をお持ちの方、立川市で開催される陸上競技会などのお手伝いをしてみたいという方、どうぞお気軽にご参加ください。さらに日本陸連公認審判員取得のチャンスもあります。まずは1度競技場へ。時間は午前10時から12時です。お待ちしています。

お問い合わせ先
立川市陸上競技協会 理事長 飯塚さん
TEL 090-6926-4673

立川市 駅伝競走大会が行われました。

1月20日(日)快晴。午前9時スタートで駅伝大会が開催されました。12町会チーム、中学生男子、中学生女子の計24チーム、一般参加の48チームが、清水市長の合図で一斉にスタート。1人3.2km、6人で襷をつなぐ周回コース。昭和第一学園高校の6人はペースの乱れもなく快走して1着でゴール。警察チームのゼッケンは110番だったり消防チームは119番だったり、楽しくさわやかな半日となりました!当日の様子は多摩てばこネットでご覧ください。



昭和第一学園のゴール!



極地研と統数研合同チーム、その名も「小演塾」

立川市消防団

今年もよろしくお祈りします。

立川市消防団は、世の中がお休みに入る昨年末28日から3日間、歳末特別警戒に市内巡回し、年が明けての13日、サンサンロードで消防団出初め式を迎えました。年末にも果敢な消防活動で表彰された消防団。今年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。



歳末特別警戒に出動する各分団消防車



1月13日出初め式 サンサンロードで

立川駅に伊豆急行「アルファ・リゾート21」が!

1月20日、立川駅2番線に赤とブルーが美しい「アルファ・リゾート21」がやってきました。車内見学会は先着400名様。あつというまに整理券はなくなりましたが、イベントが終わる15時近くまで、ホームではお客様がさかんに写真を撮っていました。「アルファ・リゾート21」は2013年2月の土、日、祝日に往復1本ずつ、中央線の線路を通過して高尾-伊豆急下田間を走行します。ステキな車両で、春の伊豆を楽しみに行きましょうか。



立川駅に入線してくるアルファ・リゾート21

Web版えくてびあん「多摩てばこネット」が面白い!

えくてびあんの運営するサイト「多摩てばこネット」では、従来のコンテンツに加えて続々と面白い企画をアッパ中です。インタビューコーナーでは「南極観測に



極地研 白石所長

見る明日」と題して、南極観測の大切さを極地研究所所長の白石和行先生がお話してくれています。またJR東日本八王子支社管轄の全ての駅長に街案内をお願いしている「駅長シリーズ」が始まっています。吉祥寺から小淵沢まで、南

武線も武蔵野線も含めて34人の駅長が語る楽しいお話。ぜひ1度「多摩てばこネット」をご覧ください。



JR 立川駅管轄現場長のみなさん

店で打ってます

おじゃましま〜す! [12]
手打ち蕎麦 なかさと

立川駅南口から東に3分歩けばお店に着きます。小上がりのある粋なお蕎麦屋さん。ご主人ひとりで切り盛りしていますが、お客様をお待たせしないというのが信条です。ですからメニューはさっぱりとおそばのみ。冷たいおそばの種類は3種類。粗挽きと二八、それに十割です。そば粉は北海道産の中



心に、季節ごとおいしい種類を選んでブレンドしています。温かいおそばには二八を使い、帆立南蛮や鴨南蛮、黒豚そばは、たっぷり入った具材に満足感がたっぷりアップ!心も体もほかほかです。5月から9月までの暑い時期には、ひんやりスルスル冷たいおそばだけのメニューです。十割の粗挽きそばでそばの強い香りを楽しむもよし、二八ですする食感を楽しむもよし。もっちりとした腰のあるとろろにわさびを混ぜて、味の変化を楽しむもよし。いろいろにそばを楽しめるお店です!



〒190-0022
立川市錦町1-5-22
TEL 042-524-5758
営業時間 11:30~14:00
17:30~20:00
定休日 日曜日

表紙の人

梅田初枝さん、香織さん、明歩ちゃん

五日市街道沿いのお茶屋さん「梅田園」の母娘三代。昔は桑畑を専門にしていた、皇室にも納めていました。植木屋さんになって40年、初枝さんのご実家で栽培する狭山茶を扱うようになって35年。賑やかに楽しい撮影でした!

かたこと

◆毎回そうですが、表紙の撮影には時間がかかります。でもどのお宅も気持ちよくご協力くださいます。今号表紙は1月中の撮影でしたが、お嬢様を出して下さいました。お手数をおかけした上に、襖や電灯、掛け軸をはずしたり、大きくて動かせない鏡を隠したり...。おかげさまで3月らしい表紙になりました。ありがとうございます。◆星野さんのご本には、実行すること、ミッション思考、自分を変えることなどの大切さが、また「口はひとつで耳はふたつ」という教えに含まれる「人の話を聞くことの大事」など、ユダヤの成功の秘訣があちこちに。お会いしてみたら、星野さんはその実践者でした!◆国文研の企画展は3月15日(金)までです。日、月、祝日はお休みですが、是非一度足をお運びください。◆蔵出し立川のコーナーでは、昔の写真や地図を見ながら、あそこはここはと昔の街並を想像します。昭和初期の南口駅前通りを写した1枚の写真。じっと見ていたカメラマンが言いました。「ここに写っている人たちは、あの日、あの時、ここに確かにいたんだよね...」——今しか写せない写真があります。今でなければ語り残せないことがあります。昔の人が作ってくれた土台に感謝、今を創り、未来につなげるえくてびあんでありたいと思います。どうぞみなさま、よろしくお祈り申し上げます。

えくてびあん◎

3月号 第31巻 通巻340号

平成25年3月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082
FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男
(WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。



「パンの時間」

阿川佐和子（「パンの基本大図鑑 パン・マルシェ」より）

「先日、フランスのニースへ行き、夫婦の経営する小さな民宿に泊ったら、朝食に見慣れぬフランスパンが供された。名前をフィッセルと呼ぶそのパンは、バタールなどよりずっと細身で短く、長さは三十センチぐらいで両先が尖っている。

それをまるでアジを開くときの要領で横からナイフを入れて二等分し、出ましたるなかの白くふかふかした部分に蜂蜜やジャムをぬり、特大カップのカフェオレとともに食したときのおいしいことといったら、驚くべき味であった。」

私がカナダのノースバンクーバーでホームステイしていた頃は、毎朝パンとコーヒーに果物かサラダの簡単な朝食で英学校に通学していました。学校での昼食もパンとコーヒーは欠かせず、一日中パンのお世話になっておりました。大好きなパンとの生活はあ

の時以来ずっと続いています。

今、四歳の愛娘と主人の家族三人でパンのある食卓を囲むと、エッセーにあるようにパンを楽しんだ若き学生時代の日々が甦ります。

ペンネーム 桑港（立川市）